

各位

2024年11月12日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和6年9月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 142.4%、学生団体は同 87.8%、団体旅行合計では同 106.8%となった。企画旅行については前年比 98.0%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 102.0%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 106.0%、学生団体は同 94.2%、団体旅行合計では同 103.4%となった。企画旅行については前年比 178.7%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 134.4%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 52.6%と前年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の9月の総取扱額は、前年比 98.3%と前年度を下回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業系コンベンションの大型案件や職場旅行取扱いが増加し、一般団体は 142.4%と前年度を上回った。

学生団体はスポーツ大会の手配など大型案件の取扱いがあったものの、取扱件数が減少したため学生団体旅行合計で 87.8%と前年度を下回った。

国内企画旅行については、前年比 98.0%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、人気のエリアである関西や沖縄方面、テーマパーク商品が低調であったため、前年比 84.7%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）は、伊勢志摩や北海道が好調に推移し、前年比 102.0%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 102.0%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、国際スポーツ大会に関連した取扱いが大きく底上げをし、前年比 106.0%となった。

学生団体は取扱件数が増加しているものの、取扱人数が減少し、前年比 94.2%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 103.4%となった。

海外企画旅行については、前年比 178.7%となった。海外自社企画（フリー型商品）では人気のハワイが徐々に復調してきたことや、テーマパークのセット型商品が引き続き好調に推移し、前年比 152.0%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、アメリカ・フランス・カナダ・オーストラリア方面が好調に推移し、前年比 179.3%となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 134.4%となった。

3. 訪日旅行

訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が引き続き堅調であったものの、JAPAN RAIL PASS の取扱額が大幅に減少し、前年比 52.6%となった。

以上